

(第 1 号議案)

平成 29 年度事業報告

代表幹事 入倉 要

平成 29 年度（平成 29 年 10 月から 30 年 9 月）を振り返ってみると、昨年 10 月 22 日に投開票された第 48 回衆議院選挙では与党が 3 分の 2 を上回る議席を獲得し大勝しました。野党第一党だった民進党が分裂することで選挙前以上に与野党のバランスが崩れ、第四次安倍内閣が発足しました。

12 月には皇室会議が開かれ、天皇陛下が平成 31 年 4 月 30 日に退位し、皇太子さまが同年 5 月 1 日に新天皇に即位される日程が決まりました。

今年 2 月には平昌オリンピック・パラリンピックが開催され、日本は、スピードスケート女子の大活躍もあり長野五輪を上回る過去最多の金メダル 13 個を獲得し、2020 年東京オリンピックにつながる大会となりました。また、6 月にはサッカー W 杯ロシア大会で日本が決勝トーナメントに進出し、強豪国相手に大健闘するなど国民が元気になる話題が続きました。

一方、同月、大阪では最大震度 6 弱の地震が発生しました。その後 7 月には 200 人を超える死者を出した西日本豪雨に見舞われ、9 月には北海道胆振東部地震が発生し 40 名を超える尊い命が失われました。振り返ると大規模災害に苦しめられた一年でありました。

また、スポーツ界では、問題が次々と露呈しました。これまでの政治家や官僚、大企業の隠蔽体質につながるものが感じられ、日本の「真面目で勤勉な」という信頼が揺らぐ事態となり、目前に迫りつつある東京オリンピックに向けて暗い影を落とすこととなりました。

さて、この間の国内経済をみますと、上場企業をはじめとする大企業は、好業績を続ける一方で、中小企業や地方経済は、業績が上向かないことに加えて、人材採用が難しく人手不足から経営が圧迫される事態まで起こっています。AI の開発による効率化が待たれるとともに、官民一体となった取り組みが必要になる時期に来ていると感じます。

山梨県では、9 年後の 2027 年に予定されているリニア中央エクスプレスの開業や中部横断道の南部区間完成などビックプロジェクトが控えているにもかかわらず、これらのプロジェクトにあわせた官民一体でのまちづくりが進まず、関心は平成 31 年に予定されている知事選に向いているように感じています。

そのような中、山梨経済同友会は 20 年目の活動を展開しました。この期間で特徴的だったことは、新たな取り組みとして起業家育成事業をスタートしたこと、そして 20 年目を記念したホームページの全面リニューアルです。

起業家育成事業は、山梨県の経済4団体連携事業として大学生をはじめ若い人向けにセミナーを開催しました。ホームページは、これまでの山梨経済同友会の情報を発信することに留まらず、山梨の交流人口アップにつながるような山梨の魅力を発信するホームページを目指して、全面リニューアルを進めています。

山梨経済同友会にとって20年という節目の年にあたり、より長期的な視野をもった事業を、山梨県内の経済4団体や行政との連携を意識して進めた年でありました。協力をいただいた皆様に感謝を申し上げて、事業報告とさせていただきます。



(30. 6. 25 「起業塾」 記者発表)



(30. 7. 4 「青雲の志起業塾」 開催)



(29. 12. 20 ホームページリニューアル)



(30. 4. 16 富士登山電車他検討)